

令和4年度工事

局長

課長

担当課長補佐

主任

設計

大山消防署大規模改修等建築主体工事

工事場所 : 西伯郡大山町末吉403番地2

工期 : 契約日～ 令和5年8月31日

金 : _____ 円

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		監理事務所補正あり
現場管理費	1	式		産廃処分税計上
一般管理費等	1	式		契約保障費計上
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

庁舎増築工事						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
ALCパネル		1		式		
防水		1		式		
木工		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
木製建具		1		式		
金属製建具		1		式		
ガラス		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
その他ユニット		1		式		
計						

[illegible]

[illegible]

鳥取県西部広域行政管理組合

[illegible]

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎大規模改修工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
屋根改修	撤去	1	式		
屋根改修	改修	1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修		1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
発生材積込・運搬		1	式		
計					

庁舎増築工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業		1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
鉄骨		1	式		
計					
ALCパネル		1	式		
計					
防水		1	式		
計					
木工		1	式		
計					

庁舎増築工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
屋根及びとい		1	式		
計					
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
木製建具		1	式		
計					
金属製建具	アルミ製建具	1	式		
金属製建具	鋼製建具	1	式		
金属製建具	軽量鋼製建具	1	式		
金属製建具	玄関・風除室アルミ製建具	1	式		
金属製建具	シャッター	1	式		
金属製建具	トイレブース	1	式		
金属製建具	アコーデオンカーテン	1	式		
計					
ガラス		1	式		
計					
塗装		1	式		
計					

廂舍增築工事

[illegible]

[illegible]

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

[illegible]

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

既存庁舎撤去工事		撤去		外装解体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	47.2	m ²			
壁中空押出成形板 とりこわし	厚15 アスベスト含有	51.3	m ²			
金属板屋根撤去	野地板共	12.4	m ²			
軒樋撤去		3.5	m			
ルーフリン撤去	縦形	1	か所			
たてどい撤去	VP管 集積共	6.3	m			
鼻隠しパネ撤去		7	m			
アルミ笠木撤去	W=350	7	m			
アルミ笠木撤去	W=200程度	15.7	m			
水切撤去		8.3	m			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	5.2	m ²			
天井下地撤去	集積共	5.2	m ²			
スタイロフォーム撤去	t=50	3.5	m ²			
計						

既存庁舎撤去工事		撤去	内装解体			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	0.9	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	8.8	m ²			
床・縁甲板フローリング撤去	集積共	0.9	m ²			
床合板撤去	集積共	2.4	m ²			
床下地板撤去	集積共	2.4	m ²			
畳下床タフォーム下地撤去	集積共	22.4	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	12	枚			
畳寄撤去	集積共	10.6	m			
雑巾摺撤去	集積共	4.7	m			
ビニル幅木撤去	集積共	24.5	m			
壁クロス撤去	集積共	47.6	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	125	m ²			
壁下地撤去	集積共	18.7	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	33.5	m ²			
天井下地撤去	集積共	33.5	m ²			
天井グラスウール撤去	集積共	22.4	m ²			
天井点検口撤去	集積共	1	か所			
階段ノズリップ撤去	集積共	22.1	m			
1F倉庫ブラインド撤去	集積共	3	か所			
1F倉庫S造棚撤去	集積共	1	か所			

鳥取県西部広域行政管理組合

既存庁舎撤去工事		撤去		発生材積込・運搬		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(積込)						
コンクリート類 集積、積込み	機 械	27.4	m3			
内装材 積込み	機 械	18.4	m3			
(運搬)						
発生材運搬	無筋コンクリート類	23.9	m3			
発生材運搬	モルタル類	2.1	m3			
発生材運搬	ガラス陶器質類	1.4	m3			
発生材運搬	木くず類	3.5	m3			
発生材運搬	廃プラスチック類	0.4	m3			
発生材運搬	混合廃棄物類	0.5	m3			
発生材運搬	ボート類	1.5	m3			
発生材運搬	非飛散性アスベスト含有物	0.8	m3			
発生材運搬	鉄屑類	3.5	m3			
発生材運搬	アルミ屑類	0.8	m3			
発生材運搬	ステンレス屑類	5.6	m3			
計						

庁舎大規模改修工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し(内部改修)	複合改修	378	m ²			
養生 (屋上防水改修)	アスファルト防水(防水保護層共)	171	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	6.2	m ²			
養生(外壁改修)		159	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	378	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	アスファルト防水(防水保護層共)	171	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	6.2	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		159	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	378	m ²			
枠組本足場(手すり 先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 運搬費共	460	m ²			
安全手すり(手すり 先行方式)	枠組本足場用 運搬費共	78.5	m			
屋根足場	運搬費共	155	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 運搬費共	378	m ²			
ネット養生シート張り	防災Ⅰ類 運搬費共	460	m ²			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎大規模改修工事		屋根改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
屋根断熱金属屋根材横葺き	カラーGL鋼板 t=0.4 ポリエチレンフォームt2.0 裏張 防水機能付断熱バツクアップ材共	155	m ²			
屋根 下葺き材	アスファルトルーフィング ⁹ 940	155	m ²			
屋根 構造用合板	厚12	155	m ²			
屋根 棟包み	カラーGL鋼板 t=0.4 加工 下地 カラーリウム鋼板 t=0.8共	17.5	m			
屋根 軒先唐草	屋根同材	35	m			
屋根 クラハ ⁹ 唐草	屋根同材	8.9	m			
屋根 クラハ ⁹ 取合水切り	W125×H150 カラーGL鋼板 t=0.5 捨て水切り・耐火野地板t19共	8.9	m			
雪止金物	ステンレス製	70	m			
ハラハ ⁹ ット立上り 角波鋼板	カラーGL鋼板 t=0.4	9.4	m ²			
ハラハ ⁹ ット立上り クミカル面戸		17.1	m			
ハラハ ⁹ ット立上り せつこうボード ⁹ 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、ボード ⁹ 、木下地 下地張り	9.4	m ²			
ハラハ ⁹ ット立上り軽量鉄骨壁下地	M ⁹ ー 25	9.4	m ²			
ハラハ ⁹ ット立上り 防水防湿シート		9.4	m ²			
軒樋	塩ビ ⁹ 角樋 W=150	17.5	m			
軒樋落し口	径75	3	か所			
ルーフト ⁹ レン	横形ろく屋根用 アスファルト・シート防水用 SGP 125A 張掛け幅 100	2	か所			
改修用ト ⁹ レン	横形 φ75 シート防水用	1	か所			
硬質ポリ塩化ビニル管とい	径125	8.6	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい	径75	25	m			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎大規模改修工事		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
改質アスファルト防水	AS-T1 改質アスファルト防水	165	m ²			
改質アスファルト防水	AS-T1 改質アスファルト防水 立上り	32.7	m ²			
改質アスファルトシート防水	AS-T1(トーチ工法) 平場 コンクリート面	5.3	m ²			
改質アスファルトシート防水	AS-T1(トーチ工法) 立上り立下り部 コンクリート下地	5.5	m ²			
クレン	床	175	m ²			
防水入隅処理 (モルタル)	立上り入隅面取り 幅70mm程度	9.2	m			
防水入隅処理	コーナークヤント(既製品)	49.6	m			
防水押え金物	アルミ製 アスファルト防水用	58.8	m			
伸縮調整目地	成形伸縮目地材 25×80 アンカータイプ	174	m			
溶接金網敷	φ3.5 100×100	165	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	165	m ²			
笠木天端コンクリート直 均し仕上げ	金ごて 幅200	13.2	m			
笠木天端コンクリート直 均し仕上げ	金ごて 幅100	36.4	m			
アルミ笠木	W=200	25.2	m			
アルミ笠木 出隅コーナー	W=200	1	か所			
アルミ笠木 EXP. J金物	屋根～屋根 アルミ製 クリアランス100 本体 W=325 止水補助シート共	10.6	m			
アルミ笠木 出隅コーナー(ほか)	W=325	3	か所			
アルミ笠木 EXP. J金物	屋根～屋根 アルミ製 クリアランス250 本体 W=500 止水補助シート共	35.2	m			
シーリング	一般部 シリコン系(SR-1)防かびタイプ 10×10	17	m			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎大規模改修工事		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	92.1	m ²			
巾木高圧水洗浄	モルタル面 30MPa	20.4	m ²			
下地調整費	コンクリート面 屋内外 C-1	18.5	m ²			
下地調整費	モルタル	20.4	m ²			
下地調整 改修仕様	コンクリート面 RA種(塗替え面)	4.9	m ²			
下地調整 改修仕様	モルタル面 RA種(塗替え面)	71.6	m ²			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	23.5	m ²			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	92.1	m ²			
土台水切り	GL鋼板 t=0.4 加工	33.9	m			
壁金属製断熱 サイディング張り下地 及び役物共	t=18 カラーガルバリウム鋼板t0.4 ホリチレンフォームt2.0 裏張 (断熱ヒューティル-72型φ250同等品)	216	m ²			
アルミ庇	W1600×D1499程度 谷樋付きタイプ	1	か所			
アルミ庇	L形 W5500×D1800程度	1	か所			
アルミ庇	L形 W2200×D1499程度	1	か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	40.3	m			
計						

庁舎大規模改修工事 建具改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
アルミ製建具撤去	窓 枠共 集積共	49.1	m ²			
アルミ製建具撤去	框戸 枠共 集積共	6	m ²			
アルミ製建具撤去	パーション 枠共 集積共	7	m ²			
アルミ製建具撤去	ガラリ 枠共 集積共	2.7	m ²			
鋼製建具撤去	両開き戸 枠共 集積共	2.4	m ²			
ステンレス製建具撤去	シャッター 枠共 集積共	56	m ²			
木製建具撤去	片開き戸 枠共 集積共	13.5	m ²			
木製建具撤去	両開き戸 枠共 集積共	8.7	m ²			
木製建具撤去	襖 枠共 集積共	10.7	m ²			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	160	m			
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	160	m			
トイレブース撤去	集積共	12.2	m ²			
ガラス撤去	集積共	53.4	m ²			
計						

庁舎大規模改修工事		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床シート防水撤去	集積共	12.6	m ²			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	12.6	m ²			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	112	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	281	m ²			
床・縁甲板フローリング撤去	集積共	15.5	m ²			
床合板撤去	集積共	1.6	m ²			
床ネグフォーム下地撤去	集積共	41.3	m ²			
床下地板撤去	集積共	1.6	m ²			
畳撤去	一畳 集積共	11	枚			
畳寄撤去	集積共	13.4	m			
雑巾摺撤去	集積共	3.6	m			
ビニル幅木撤去	集積共	199	m			
壁タイル撤去	タイルのみ 集積共	28.7	m ²			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	88.3	m ²			
壁モルタル・プ ラスター撤去	集積共	115	m ²			
壁クロス撤去	集積共	457	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	541	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	475	m ²			
天井下地撤去	集積共	475	m ²			
天井グラスウール撤去	集積共	111	m ²			

庁舎大規模改修工事						
内装改修			撤去			
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
天井点検口撤去	集積共	1	か所			
上り框撤去	集積共	5	m			
ステンレス製三方枠撤去	集積共	15.5	m			
1F署長室ビュッシャー撤去	集積共	2	か所			
1F事務室兼待機室フラインド撤去	集積共	6	か所			
1F通路洗面カウンター撤去	集積共	1	か所			
2F厨房厨房カウンター撤去	集積共	1	か所			
1F給湯室流し台撤去	W1200 集積共	1	か所			
2F厨房業務用流し台撤去	W1200 集積共	1	か所			
1F給湯室コンロ台撤去	W600 集積共	1	か所			
2F書庫コンロ台撤去	集積共	1	か所			
2F厨房調理台撤去	W1000 集積共	1	か所			
2F厨房ステンレスフード撤去	集積共	1	か所			
1F給湯室ステンレスフード撤去	W600 集積共	1	か所			
1F給湯室吊戸棚撤去	集積共	2	か所			
1F車庫A下足入撤去	集積共	1	か所			
1F事務室兼待機室収納ラック撤去	集積共	1	か所			
1F署長室応接セット撤去	集積共	1	か所			
2F会議室おひつボード撤去	集積共	1	か所			
1F脱衣室室名札撤去	集積共	12	か所			

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
ビニル床シート	厚さ2.5 特殊防滑	25.8	m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	11	m ²			
ビニル床タイル	半硬質 厚さ2.0 コンボ シェンビニル床タイルKT 一般床	85.9	m ²			
床リリウムシート床材	厚さ2.5 ポリウレタンコーティング	118	m ²			
床薄膜型水性エポキシ樹脂系塗床材	防滑 耐薬品性	19.9	m ²			
床厚膜型エポキシ樹脂系塗床材	防滑 耐薬品性	5.4	m ²			
床厚膜型高耐久性水性床材	ウレタンコンクリート系 t4.0	118	m ²			
床セルフレベルリング	t=10 ビニル床シート下地	4.4	m ²			
床セルフレベルリング	t=10 ポリウレタンコーティング下地	86.5	m ²			
床セルフレベルリング	t=10 硬質骨材練込下地	19.6	m ²			
床セルフレベルリング	t=10 二重床下地	9.3	m ²			
床セルフレベルリング	t=10 カプセルユニット下地	15.6	m ²			
床硬質骨材練り込み	薄張物下地	25.8	m ²			
床鋼製二重床		9.3	m ²			
床タイル張り	一般床タイル張 100角 下地モルタル別塗	27.5	m ²			
床モルタル塗り	木ごと 一般タイル下地 厚37	27.5	m ²			
床モルタル塗り	木ごと 誘導及び注意喚起タイル下地	1.3	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	86	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 塗仕上下地	143	m ²			

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて ポリウレタンコーティング材塗り下	35	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 汚垂石下地	0.9	m ²			
汚垂石	W1550×D600	1	か所			
視覚障害者用誘導点字タイル	300角	5	か所			
視覚障害者用注意喚起点字タイル	300角	9	か所			
床見切	ステンレス製 幅40	2.7	m			
(巾木・壁)						
ビニル床シート巻上	H=150 厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	15.1	m			
ラインク幅木見切縁		2.3	m			
ビニル幅木	高さ60	133	m			
ビニル幅木	高さ100	81.1	m			
ステンレス巾木	H=125 鏡面 t=1.0	38.7	m			
壁 弾性タイル吹付	既存コンクリート面 下地調整共	193	m ²			
壁 弾性タイル吹付	ALCパネル面 下地調整共	130	m ²			
壁クロス張り	ボード面	486	m ²			
壁 化粧けい酸カルシウム板張り	厚6	153	m ²			
壁 せっこうボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	63	m ²			
壁 せっこうボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	126	m ²			
壁 せっこうボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	357	m ²			
壁 せっこうボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 下地張り -	9.1	m ²			

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	49.1	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	18.4	m ²			
壁 シーシソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	10.6	m ²			
壁 シーシソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 継目処理 - -	4.6	m ²			
壁 シーシソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-S 厚12.5共	15.6	m ²			
壁 シーシソク せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	82.1	m ²			
壁ALC [®] ね	厚100 縦張り 目地シーリング 共	65.2	m ²			
ALC [®] ね取付金物	定規アングル L-65×65×6	28.6	m			
ALC [®] ね開口補強	L-50×50×6	22.3	m			
M [®] -	t=25 下地張りなし	40.1	m ²			
M [®] -	t=25 下地張りあり	97.1	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	6.6	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	57.5	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	252	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 650×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 750×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 800×2000mm程度	11	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 850×2000mm程度	5	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1000×2000mm程度	5	か所			

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1940×2200mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タテ等四方補強 1230×1000mm程度	1	か所			
垂れ壁クロス張り	ボート面	3.9	m ²			
垂れ壁 せっこうボ ート張り (GB-R)	厚12.5 準不燃 鋼製、木、ボート下地 継目処理	3.9	m ²			
軽量鉄骨垂れ壁下 地	50形 下地張りなし @300 H=160	24.2	m			
壁 発泡ウレタン吹付	厚さ30	200	m ²			
壁見切縁	アルミ製	24.8	m			
(天井)						
天井 化粧 せっこうボート 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラハチン 突付け	6.5	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-R 厚12.5共	258	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	8.7	m ²			
天井 バスリア張り	廻縁共	12.5	m ²			
天井断熱材敷込み (一部壁)	アクリルマット 厚155 14K 防湿フィルム付	192	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	6.5	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート別途	12.5	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート別途	267	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	18	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	18	か所			
天井廻縁	塩化ビニール製	332	m			
(その他)						

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1F風除室 ビクチャール	先付アルミ L=1500 ワイヤ6本	1	か所			
1F風除室 掲示板		1	か所			
1F風除室 受付カウンター	タモ t40 W1200×D250 R面加工	1	か所			
2階 UBユニットバス		1	か所			
2F厨房 木製カウンター	タモ t40 W1200×D400	1	か所			
ライニング面台	ボストフォームt=19 W=150	3.3	m			
ライニング面台	ボストフォームt=25 W=150	1.6	m			
ユニットバス三方枠	樹脂製 W782×H1910	1	か所			
三方枠	タモ集成材 t30 W800×H2000	9	か所			
(サイン)						
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「事務室」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「署長室」	2	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「食堂」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「相談室」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「装備室」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「男子更衣室」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 女子専用サイン	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 男子便所トイレサイン	1	か所			
◇2室名札	シート切文字貼り 壁付 「資機材庫」	1	か所			
◇2室名札	シート切文字貼り 壁付 「書庫」	2	か所			

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
◇2室名札	シート切文字貼り 壁付 「装備室」	1	か所			
◇2室名札	シート切文字貼り 壁付 「油庫」	1	か所			
◇2室名札	シート切文字貼り 壁付 「浴室」	1	か所			
◇2室名札	シート切文字貼り 壁付 女子便所トイレサイン	1	か所			
◇3室名札	シート切文字貼り 壁付 パリアフリートイレサイン	1	か所			
◇4室名札	W254×H250 壁付 ペーシス樹脂成形品 シルハート塗装仕上 表示基板:アルミ型材 アルマイト仕上 表示方法:UV印刷	9	か所			
(厨房機器)						
1. 作業台	W1350×D480×H850	1	か所			
11. 調理台	TRE-WCT-120ANB W1200×D750×H850 中棚1段	1	か所			
12. 上棚	W1200×D450×H550	1	か所			
2. 庖丁差し 小2段	W230×D100×H370	1	か所			
3. 二槽シンク	TRE-2S-120 W1200×D600×H850	1	か所			
4. 水切プレート	TRE-L-60 W250×D520×H50	2	か所			
5. 作業台	TRE-WT-120NB W1200×D600×H850	1	か所			
6. コンロ台	TRE-GT-120 W1200×D600×H700	1	か所			
7. 卓上カーステップル	TGU-50 W500×D500×H185	1	か所			
9. 戸棚	TRE-CB-90AG W900×D750×H1850 アクリル戸式 中棚2段	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
(家具)						

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
K-2 下足箱	W1253×D330×H1700 天板:珪藻土化粧板F t=20 内部:ポリ合板F t=20	2	か所			
K-22 棚	W3300×D400×H2500 天板:珪藻土化粧板F t=25 内部:ポリ合板F t=25 SUS棚柱共	1	か所			
K-23 棚	W1357.5×D600×H1200 W2055×D600×H1200/欠き120×18 W2055×D600×H1200/欠き520×18 W2055×D600×H1200 天板:珪藻土化粧板 t=12 柱・根太:杉材 アジャスター(重量タイプ SUS製) D-C程度	1	か所			
K-3 造り付机	W1500×D700×H700 天板:珪藻土化粧板F t=30 引出し:ポリ合板F t=20 内部:ポリ合板F t=20 スライドレール・ツミ共	1	か所			
K-4 窓下書棚	W2900×D400×H1285 天板:珪藻土化粧板F t=25 内部:ポリ合板F t=25 SUS棚柱共	1	か所			
K-5 書棚	W5800×D400×H2600 天板:珪藻土化粧板F t=25 内部:ポリ合板F t=25 SUS棚柱共	1	か所			
K-6 書棚・ロッカー	W1500×D400×H2000 天板:珪藻土化粧板F t=25 内部:ポリ合板F t=20 扉:ポリ合板F t=25 スライド丁番・ツミ・SUS棚柱・ SUSペイジ・透明ガラス共	1	か所			
K-9 脱衣棚	W700×D600×H1200 天板:珪藻土化粧板F t=20 内部:ポリ合板F t=20	1	か所			
K-11 机	W928×D600 天板・受材:珪藻土化粧材 t=40 鞆置き:ポリ合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-12 机	W926×D600 天板・受材:珪藻土化粧材 t=40 鞆置き:ポリ合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-13 机	W928×D600 天板・受材:珪藻土化粧材 t=40 鞆置き:ポリ合板F t=25					

庁舎大規模改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-14 机		1	か所			
K-15 机	W928×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-16 机	W926×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-17 机	W928×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-18 机	W926×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-19 机	W928×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-20 机	W843×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-21 机	W891×D600 天板・受材:珞集成材 t=40 鞆置き:珞り合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
K-7 ホンハ 置台	W3500×D900×H800 天板:珞集成材 t=40 中棚:珞集成材 t=40 脚:スチル製 アジスター共	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎大規模改修工事 発生材積込・運搬						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(積込)						
発生材積込み	コンクリート類 人力	16.2	m3			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	66.4	m3			
(運搬)						
発生材運搬	無筋コンクリート類	1.1	m3			
発生材運搬	モルタル類	9.5	m3			
発生材運搬	ガラス陶器質類	5.6	m3			
発生材運搬	木くず類	26.7	m3			
発生材運搬	廃プラスチック類	2.5	m3			
発生材運搬	混合廃棄物類	7.9	m3			
発生材運搬	ボート類	9.8	m3			
発生材運搬	非飛散性アスベスト含有物	4.3	m3			
発生材運搬	鉄屑類	8.7	m3			
発生材運搬	アルミ屑類	6	m3			
発生材運搬	ステンレス屑類	0.4	m3			
計						

[illegible]

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎増築工事 鉄筋						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D10	1.6	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D13	3.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D16	0.5	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	0.8	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	1.7	t			
スクラップ 控除		-0.2	t			
鉄筋加工組立	RC7-10構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	7.4	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	7.4	t			
鉄筋ガス圧接	D19 -D19	15	か所			
鉄筋ガス圧接	D22 -D22	23	か所			
接着系アンカー	D13横方向打 材工共	13	本			
フラ溶接	D10 片面10d	196	か所			
溶接金網敷	径6.0 100×100	149	m ²			
計						

庁舎増築工事						
コンクリート						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート	米子土木事務所10 18(N/mm ²) S-15	2.8	m ³			
生コンクリート	米子土木事務所10 21(18+3) (N/mm ²) S-15	14.9	m ³			
生コンクリート	米子土木事務所10 24(21+3) (N/mm ²) S-15	41.8	m ³			
生コンクリート	米子土木事務所10 24(21+3) (N/mm ²) S-18	20.2	m ³			
生コンクリート	米子土木事務所10 18(N/mm ²) S-15	13.2	m ³			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m ³ /回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	2.8	m ³			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m ³ /回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	14.9	m ³			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m ³ /回未満 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	41.8	m ³			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m ³ /回未満 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	20.2	m ³			
コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m ³ /回以下	4	回			
無収縮モルタル圧入	Fm=30N 材工共	0.1	m ³			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎増築工事		金属				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
EXP. J金物上部 水切り		5.8	m			
アルミ笠木	W=325	10.2	m			
アルミ笠木 出隅コーナー	W=325 鈍角	1	か所			
アルミ笠木	W=375	45.8	m			
アルミ笠木 出隅コーナー	W=375	6	か所			
アルミ笠木 EXP. J金物	屋根～屋根 アルミ製 クリアアス150 本体 W=600 止水補助シート共	1.5	m			
アルミ庇	W4520×D1499 谷樋付きタイプ	1	か所			
トラップ (梯子型)	ステンレス製 H=5535 安全ガード (H=3650) 付き	1	か所			
トラップ (梯子型)	ステンレス製 H=3150 安全ガード (H=1550) 付き	1	か所			
土台水切り	GL鋼板 t=0.4 加工	35.1	m			
天井廻縁	アルミ製	10.6	m			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート別途	2.6	m ²			
天井インサート	デッキ用	2.6	m ²			
(内部)						
ステンレス幅木	H=100 t=1.0 鏡面	17.2	m			
Mハーフ	t=25 下地張りなし	76.1	m ²			
Mハーフ	t=25 下地張りあり	11.1	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	39.3	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	6.5	m ²			

庁舎増築工事 金属						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	140	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りなし @300	6.8	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450	18.4	m ²			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 782×1910mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 800×2000mm程度	3	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 800×2000mm程度	3	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1000×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 タテ等四方補強 600×600mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 タテ等四方補強 685×600mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 タテ等四方補強 1700×1170mm程度	1	か所			
軽量鉄骨垂れ壁下地	50形 下地張りなし @300 H=160	2.2	m			
軽量鉄骨下がり壁下地	19形(屋内) H300～500程度	1.2	m			
軽量鉄骨下り壁下地	19形 下地張りなし @300	0.7	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	3.7	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート別途	2.4	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート別途	97.3	m ²			
天井インサート	デッキ用	103	m ²			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	8	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	8	か所			
階段滑り止め	ステンレス製 エント無し 幅35	24.7	m			

鳥取県西部広域行政管理組合

左官						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	99.1	m ²			
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅100	64.9	m			
防水形 外装薄塗塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け 下地調整費(C-1) 共	14.9	m ²			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	5.2	m			
(内部)						
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	7.2	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 塗仕上下地	49.5	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて セルフレベルング材塗り下地	83.6	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて ユニットバス下地	4.2	m ²			
階段モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	6.8	m ²			
外装薄塗材 E	けい酸カルシウム面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1) 共	47.4	m ²			
外装薄塗材 E	ALCパネル面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1) 共	13.8	m ²			
床欠込目地	5×10	4.6	m			
建具周囲 モルタル充填	内部建具	13.8	m			
計						

庁舎増築工事		金属製建具		アルミ製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
AD1片開き戸	W900×H2000	1	か所			
AD2片開き戸	W800×H1950	1	か所			
AW1引違い窓	W1700×H1170	3	か所			
AW2引違い窓	W500×H1170	10	か所			
AW3引違い窓	W1800×H1270	4	か所			
AW4引違い窓	W500×H1170	1	か所			
AW5A引違い窓	W1800×H1270	1	か所			
AW5B引違い窓	W1800×H1270	1	か所			
AW6引違い窓	W500×H1170	15	か所			
AW7引違い窓	W1700×H1170	1	か所			
AW8引違い窓	W1230×H1000	1	か所			
運搬・取付費	大規模改修	1	式			
運搬・取付費	増築	1	式			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎増築工事		金属製建具		軽量鋼製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
LHD1片引きハカート ア	W1000×H2000	1	か所			
LHD2片引きハカート ア	W1000×H2000	1	か所			
LHD3片引きハカート ア	W1000×H2000	1	か所			
LHD4片引きハカート ア	W1000×H2000	1	か所			
LHD5片引きハカート ア	W1000×H2000	1	か所			
LHD6片引きハカート ア	W1000×H2000	1	か所			
運搬・取付費	大規模改修	1	式			
運搬・取付費	増築	1	式			
LSD1片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD2片開き戸	W900×H2000	1	か所			
LSD3片開き戸	W600×H600	3	か所			
LSD4片開き戸	W685×H600	1	か所			
LSD5片開き戸	W600×H2000	1	か所			
LSD6片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD7片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD8片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD9片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD10片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD11片開き戸	W850×H2000	1	か所			
LSD12片開き戸	W650×H2000	1	か所			

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

庁舎増築工事		ガラス				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
型板ガラス	厚さ4 特寸 2.18㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	3.4	㎡			
型板ガラス	厚さ6 特寸 2.18㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.3	㎡			
アクリル板ガラス	厚さ3 特寸 2.18㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.3	㎡			
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.2	㎡			
強化ガラス	厚さ 8mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃共	8.5	㎡			
Low-E複層ガラス	Low-E3+A12+FL3 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	32.2	㎡			
Low-E複層ガラス	Low-E3+A12+F4 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	6.4	㎡			
Low-E複層ガラス 網入りガラス	網入り6.8+A12+Low-E3 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.99	㎡			
Low-E複層ガラス 網入りガラス	網入り6.8+A12+Low-E5 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	2.3	㎡			
ガラスとめ(シーリング) (両面)	シリコン 1成分形 SR-1 ガラス規格2.18㎡以下	56.5	㎡			
ガラス清掃		56.5	㎡			
衝突防止シール	SUS 30φ	8	か所			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

戸舎増築工事		内外装				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
壁 金属製断熱サイディング張り	t=18 カラーガルバリウム鋼板t0.4 发泡ポリエチレンフォームt2.0 裏張 (断熱ビュティール72型φ250同等品)	89.6	m ²			
金属製断熱サイディング		133	m ²			
壁 下葎き材	透湿防水シート	133	m ²			
天井 けい酸カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚10 目透かし	2.6	m ²			
(内部)						
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	5.7	m ²			
ビニル床シート	厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法 ノンスリップ	2.4	m ²			
ビニル床シート	厚さ2.5 特殊防滑	3.4	m ²			
ビニル床タイル	半硬質 厚さ2.0 コンボ シェションビニル床タイルKT 一般床	3.7	m ²			
床リリウムシート床材	厚さ2.5 ポリウレタンコーティング	77.2	m ²			
階段リリウムシート床材	厚さ2.5 ポリウレタンコーティング	10.1	m ²			
合成樹脂塗床	エポキシ樹脂系 厚膜流しのべ仕上げ 防滑仕上げ 耐薬品性	10.1	m ²			
ウレタンコンクリート系塗床材	厚膜型高耐久性水性 厚さ4.0	39.4	m ²			
床セルフレベリング	t=10 ビニル床シート下地	5.7	m ²			
床セルフレベリング	t=10 ビニル床タイル下地	3.7	m ²			
床セルフレベリング	t=10 硬質骨材練込下地	3.4	m ²			
床セルフレベリング	t=10 リリウムシート床材下地	69.8	m ²			
汚垂石下地床セルフレベリング	t=10 汚垂石下地	0.9	m ²			
床硬質骨材練り込み	薄張物下地	3.4	m ²			

庁舎増築工事		内外装				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ビニル幅木	高さ60	82.5	m			
ビニル床シート巻上	H=100 厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	9.6	m			
幅木見切縁		9.6	m			
壁クロス張り	ボート面	203	m ²			
壁化粧けい酸カルシウム板張り	厚6	92.8	m ²			
壁 けい酸カルシウム板張り	タイプ2(ノンアス)0.8FK 厚 8 鋼製、木、ボート下地 目透かし - -	47.4	m ²			
壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 突付け - -	7.7	m ²			
壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付け - -	8.3	m ²			
壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	4.1	m ²			
壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 継目処理 - -	44.5	m ²			
壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	162	m ²			
壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 下地張り - -	19.4	m ²			
壁 シーリング せっこうボート張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付け - -	9.9	m ²			
壁 シーリング せっこうボート張り (GB-S)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 下地張り - -	4.7	m ²			
壁 シーリング せっこうボート張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 下地張り - -	65.3	m ²			
壁 シーリング せっこうボート張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付け 下張GB-S 厚12.5共	3.4	m ²			
壁 シーリング せっこうボート張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付け 下張GB-S 厚12.5共	3.3	m ²			
垂れ壁クロス張り	ボート面	0.4	m ²			
垂れ壁 せっこうボート張り (GB-R)	厚12.5 準不燃 鋼製、木、ボート下地 継目処理	0.4	m ²			
下り壁クロス張り	ボート面	1.1	m ²			

庁舎増築工事		内外装				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
下り壁 せっこうボード張り (GB-R)	厚12.5 準不燃 銅製、木、ボード下地 継目処理	1.1	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライプ 突付け	3.7	m ²			
天井 化粧けい酸カルシウム板張り	厚5 目地シーリング 共	10.1	m ²			
天井 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 下地張り	10.1	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	87.2	m ²			
天井 バスリアフ張り	廻縁共	2.4	m ²			
天井断熱材敷込み	アクリルマット 厚155 14K 防湿フィルム付	32.9	m ²			
壁 発泡ウレタン吹付	厚さ30	91.5	m ²			
鉄骨梁 発泡ウレタン吹付	厚さ30	22.6	m ²			
天井 発泡ウレタン吹付	厚さ30	72.8	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	130	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 突付け - -	9.2	m ²			
外壁樹脂モルタル	t=70	16.8	m ²			
計						

庁舎増築工事		その他ユニット				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
館名板	ステンレス箱文字 和文字 300×300 5文字 英文字 150×150 14文字	1	か所			
屋上階段	W1000×D1400 3段	1	か所			
階段壁付手摺	樹脂製(木目調) φ34 平部	6.6	m			
階段壁付手摺	樹脂製(木目調) φ34 斜部	2.6	m			
ラインク [®] 面台	ボ [®] ストフォームt=19 W=150	2.7	m			
ユニットハ [®] ス三方枠	樹脂製 W782×H1910	1	か所			
1F会議室 ホ [®] イトボ [®] ート	W3600×D35×H1200	1	か所			
1F男子浴室 シャワーカーテン	W1000×H2000	1	か所			
1F男子浴室 ユニットハ [®] ス	W2300×D1600×H2390	1	か所			
2F洗面室 化粧鏡	W1500×H1000	1	か所			
K-1 脱衣棚	W938×D500×H1200 天板:メラミン化粧板F t=20 内部:ボ [®] リ合板F t=20	1	か所			
K-8 歯フ [®] ラン入れ	W1270×D230×H1720 天板:メラミン化粧板F t=20 内部:ボ [®] リ合板F t=20 扉:ボ [®] リ合板F t=20 透明アクリルt=4・ガラス丁番・ 引戸用アルミレベル・戸引手共	1	か所			
運搬・取付費	増築	1	式			
K-10 机	W1226×D600 天板・受材:珪集成材 t=40 鞆置き:ボ [®] リ合板F t=25 受材SUS製掘り込み 天板に配線貫通穴30φ 2箇所	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「会議室」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「救急消毒室」	1	か所			
◇1室名札	シート切文字貼り 壁付 「浴室」	1	か所			

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鉄骨工事		躯体改修・大規模改修		鉄骨改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(小梁補強)						
鋼材費	H175×175×11	297	kg			
現地確認 施工図製作費		1	式			
工場加工費・錆止 費	JISK5674 工場2回塗り(赤錆色)	1	式			
既存梁穴あけ	φ24	30	か所			
梁取付費	レッカー費含む	1	式			
運搬費		1	式			
諸経費		1	式			
(DS4 床梁新設)						
鋼材費	H248×124×5×8	141	kg			
現地確認 施工図製作費		1	式			
工場加工費・錆止 費	JISK5674 工場2回塗り(赤錆色)	1	式			
カセットプレート現場 溶接		1	式			
取付費	レッカー費含む	1	式			
運搬費		1	式			
諸経費		1	式			
(DS4デッキ新設)						
割付図面作成		1	式			
デッキ+EZ75 t1.0 Z12	運賃込 施工面積17㎡	1	式			
荷上げ費		1	式			

鉄骨工事		躯体改修・大規模改修		鉄骨改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
デッキ張り手間		1	式			
諸経費		1	式			
(X2既存建物耐風梁新設)						
鋼材費	H248×124×5×8	250	kg			
現地確認 施工図製作費		1	式			
工場加工費・錆止費	JISK5674 工場2回塗り(赤錆色)	1	式			
ガセットプレート現場溶接		4	か所			
取付費	クレーン込み	1	式			
運搬費		1	式			
諸経費		1	式			
(既存建物 胴縁改修工事)						
鋼材費		1	式			
現地確認 施工図製作費		5,338	kg			
工場加工費・錆止費	JISK5674 工場2回塗り(赤錆色)	5,338	kg			
ガセットプレート現場溶接		5,338	kg			
取付費	クレーン込み	5,338	kg			
調整費		5,338	kg			
運搬費		5,338	kg			
諸経費		5,338	kg			
(その他)						

鳥取県西部広域行政管理組合

鉄骨工事 鉄骨・増築						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(本体鉄骨工事)						
鋼材費		1	式			別紙 00-0002
補足材		938	kg			
現寸・工作図費		18,769	kg			
工事加工費		18,769	kg			
錆止塗装費	JISK5674 工場2回塗り(赤錆色)	18,769	kg			
建方本締め費	25tラフタークレーン含む	18,769	kg			
運搬費		18,769	kg			
タッチアップ		18,769	kg			
機械器具損料費		18,769	kg			
消耗品費		18,769	kg			
諸経費		18,769	kg			
(付帯工事)						
ISペース SH252	C1×5 C2×1 鋼板PL-28 211kg共	6	基			
ISペース SH252	C3×4 鋼板PL-28 211kg共	4	基			
アンカーボルトのセット	P14Z×2. P12×1	3	基			
デッキプレート	EZ50 t=1.0 Z12	149	m ²			
デッキプレート敷き手間	焼抜き栓溶接	149	m ²			
コンクリート流れ止め	H=130	93	m			
階段	手すり含まず	1,390	kg			

鉄骨工事 鉄骨・増築						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
胴縁工事	D-Lock使用	4,220	kg			
(安全仮設工事)						
水平ネット(材工共)	フラセルネット15mm目	268	m ²			
親綱(材工共)	フック付 16mmロープ	154	m			
親綱支柱(材工共)	アルミ兼用型支柱	36	本			
親綱支持ベルト (材工共)	□柱用親綱固定用金物	4	本			
親綱緊張器(材工共)	親綱緊張用金物	23	庫			
ネットフック	V型フック	224	個			
仮設資材運搬費	米子～現場 現場～米子	2	回			
(鉄骨建方用昇降 設備工事)						
昇降用ステップ	架け払い手間	144	個			
安全ブロック	材リース費	10	台			
安全ブロック	架け払い手間	10	台			
(その他)						
法定福利費		1	式			
(耐火被膜)						
鉄骨梁 吹付ロックウール	耐火1時間 厚25	41.5	m ²			
天井 吹付ロックウール	耐火1時間 厚25	32.2	m ²			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

仮設庁舎工事				仮設庁舎リース		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設庁舎	C T - 5 4 II 耐雪型					
ユニットハウスCT-54J II 耐雪型	EPS レンタル料 (180日)	10	棟			
ユニットハウスCT-54J II 耐雪型	EPS 基本料	10	棟			
ユニットハウスCT-54J	EPS 連棟部材費	8	か所			
ユニットハウスCT-54J II 耐雪型	EPS 建上工事費	1	式			
ユニットハウスCT-54J II 耐雪型	EPS 解体工事費	1	式			
階段 屋根付	レンタル料 (180日)	1	基			
階段 屋根付	基本料	1	基			
階段 屋根付	取付費	1	式			
階段 屋根付	撤去費	1	式			
キッチンカブセル申請対応	レンタル料 (180日)	2	基			
キッチンカブセル申請対応	基本料	2	基			
間仕切りJオブション品	レンタル料	31	m			
間仕切りドアJオブション品	レンタル料	5	枚			
ユニットハウスCT-54J II 耐雪型	EPS 納入搬送費	1	式			
ユニットハウスCT-54J	EPS 積込費	10	棟			
ユニットハウスCT-54J	EPS 引取運送費	1	式			
ユニットハウスCT-54J	EPS 建方レッカー代	2	車			
ユニットハウスCT-54J	EPS 解体レッカー代	2	車			
NEWエアコンP単相200V	5.6kw レンタル料	2	基			

仮設庁舎工事		仮設庁舎リース				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
NEWエアコンP単相200V	5.6kw 基本料	2	基			
NEWエアコンP単相100V	2.8kw レンタル料	3	基			
NEWエアコンP単相100V	2.8kw 基本料	3	基			
エアコン穴あけ作業		5	か所			
エアコン納入・引取運搬費		2	回			
仮設トイレ水洗洋式	レンタル料	2	棟			
仮設トイレ水洗洋式	基本料	2	棟			
手洗いシンク 3人用	レンタル料	1	基			
手洗いシンク 3人用	基本料	1	基			
仮設風呂 FS-25R	レンタル料	2	棟			
仮設風呂 FS-25R	基本料	2	棟			
仮設トイレ・手洗いシンク・仮設風呂搬入費		1	車			
仮設トイレ・手洗いシンク・仮設風呂搬出費		1	車			
フライト°	レンタル料	6	本			
カーテン	レンタル料	4	か所			
強風養生		4	か所			
2階仮眠室用畳	材工共 (スタイロフォーム込)	26	m ²			
2階仮眠室用畳	撤去・処分費	1	台			
2階仮眠室用畳	運搬諸経費	1	式			
2階更衣室用カーペット	材工共 (スタイロフォーム込)	13	m ²			

鳥取県西部広域行政管理組合

発生材処分費		発生材処分費		既設庁舎撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	無筋コンクリート類	23.9	m3			
発生材処分	モルタル類	2.1	m3			
発生材処分	ガラス陶器質類	1.4	m3			
発生材処分	木くず類	3.5	m3			
発生材処分	廃プラスチック類	0.4	m3			
発生材処分	混合廃棄物類	0.5	m3			
発生材処分	ボート類	1.5	m3			
発生材処分	非飛散性アスベスト含有物	0.8	m3			
発生材処分	鉄屑類	-2.6	t			
発生材処分	アルミ屑類	-0.7	t			
発生材処分	ステンレス屑類	-1.4	t			
計						

発生材処分費		発生材処分費		庁舎大規模改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	無筋コンクリート類	1.1	m3			
発生材処分	モルタル類	9.5	m3			
発生材処分	ガラス陶器質類	5.6	m3			
発生材処分	木くず類	26.7	m3			
発生材処分	廃プラスチック類	2.5	m3			
発生材処分	混合廃棄物類	7.9	m3			
発生材処分	ボート類	9.8	m3			
発生材処分	非飛散性アスベスト含有物	4.3	m3			
発生材処分	鉄屑類	-2.1	t			
発生材処分	アルミ屑類	-0.9	t			
発生材処分	ステンレス屑類	-0.05	t			
計						

鳥取県西部広域行政管理組合

鉄骨工事		鉄骨・増築				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0002
H形鋼	SS400 H125×125×6.5×9	94	kg			
H形鋼	SS400 H148×100×6×9	303	kg			
H形鋼	SS400 H150×75×5×7	99	kg			
H形鋼	SS400 H200×100×5.5×8	146	kg			
H形鋼	SS400 H244×175×7×11	601	kg			
H形鋼	SS400 H250×125×6×9	1,220	kg			
H形鋼	SS400 H300×150×6.5×9	1,138	kg			
H形鋼	SS400 H340×250×9×14	1,266	kg			
H形鋼	SS400 H350×175×7×11	1,027	kg			
H形鋼	SS400 H450×200×9×14	502	kg			
H形鋼	SS400 H500×200×10×16	2,929	kg			
角型鋼管	BCR-250×250×9	264	kg			
角型鋼管	BCR-250×250×16	2,931	kg			
角型鋼管	BCR-300×300×12	3,171	kg			
鋼板	SS400 PL-6	83	kg			
鋼板	SS400 PL-9	552	kg			
鋼板	SS400 PL-12	573	kg			
鋼板	SN490C PL-19	55	kg			
鋼板	SN490C PL-22	135	kg			

鉄骨工事 鉄骨・増築						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鋼材費		1	式			別紙 00-0002
鋼板	SN490C PL-25	513	kg			
鋼板	SN490C PL-28	108	kg			
リップ 溝形鋼	SS400 C-100×50×20×3.2	44	kg			
平鋼	SS400 FB-9×25	31	kg			
溝形鋼	SS400 [-100×40×5×7.5	15	kg			
アンカーボルト	M16×600×65	6	kg			
高力ボルト	M16 L40	11	kg			
高力ボルト	M16 L45	7	kg			
高力ボルト	M20 L45	21	kg			
高力ボルト	M20 L50	14	kg			
高力ボルト	M20 L55	13	kg			
高力ボルト	M20 L60	78	kg			
高力ボルト	M22 L60	14	kg			
高力ボルト	M22 L65	55	kg			
高力ボルト	M22 L70	9	kg			
高力ボルト	M22 L75	258	kg			
中ボルト	M12 L25	1	kg			
裏当て	SS400 250×16×9	36	個			
裏当て	SS400 300×16×9	46	個			

[illegible]

鳥取県西部広域行政管理組合

鳥取県西部広域行政管理組合

[illegible]

1 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、圏域内及び県内業者（以下「圏域内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は圏域内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる圏域内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは圏域内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。
- (5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

2 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 圏域内産の資材がある場合は、圏域内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、圏域内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「圏域内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。圏域内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について圏域内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (5) 工事に使用する資材については、極力有害性 V O C（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

3 工事の安全確保について

- (1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。
- (2) 労働安全衛生法第 59 条、第 60 条の 2 に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載す

るものとする。

- (3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書を提出すると共に、建設工事事故データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

4 建設機械の使用について

- (1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

5 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 42 年法律第 131 号）の目的に鑑み、同法第 1 2 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

6 ダンプトラック等、による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

7 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

8 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加済済みで、建退共に加済することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- (4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後 1 ヶ月以内に提出しなければならない。

9 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第 26 条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1 級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第 40 条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

10 労働基準法等の遵守

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週 40 時間を遵守すること。

11 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月鳥取県条例第 3 号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
- (2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

12 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3 か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と

所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成 25 年法律第 41 号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

16 契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

17 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) 本来一体とすべき同一敷地内又は同一敷地内（隣接した敷地を含む）の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下、「後工事」という。）を現に施工中の工事の受注者と随意契約しようとする場合の共通仮設費は、契約済みの全ての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算出した共通仮設費の額から、前工事の共通仮設費の額を控除した額とする。なお、後工事が複数ある場合は、その合算工事費を対象とする。
- (3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (5) 特定フロンの使用の削減に努めること。
- (6) 労務費については、法定労働時間週 40 時間を考慮したものとしている。
- (7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。
- (8) 工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底について、追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

特 記 事 項 〔施工条件明示事項〕

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明 示 事 項	条 件
工 程	1. 他工事との調整 2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 3. 関係機関等との協議 4. 工事の指定部分 5. 地下埋設物等の調査 地下埋設物の移設が予定されている場合。 6. 週休 2 日促進モデル工事	工事名 大山消防署大規模改修等電気設備工事 大山消防署大規模改修等機械設備工事 上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。 制限される工事 ☒ 全般 制限の内容 ☒ 施設運営に支障のないよう協力すること。 本工事において、関係法令上必要あれば、関係機関と協議を行うこと。 令和 年 月 日までに完成させること。 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気通信・ガス・その他）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道下水道・電気・通信・ガス・その他）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 移設期間 本工事は、「営繕工事における週休 2 日促進工事实施要領」（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、発注方式は下記とする。 ・発注者指定方式 ・受注者希望方式
用 地	1. 工事用車輛の駐車場	・駐車場がないため確保する必要がある。 ・敷地内に一部確保できる。 ☒原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。
公 害 対 策	1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限 2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。	内 容 関係法令を遵守すること。 ・近隣家屋等の ・事前事後の状況の写真を付して記録し ・事後（ ）の調査を行い、万全を期して施工すること。 ・工事概要について住民説明を行うこと。 ・近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。
安 全 対 策	1. 交通安全施設等の指定	☒一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 ・交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員 A 人 交替要員 人 1 日あたり合計 人 配置日数 日 工事全体合計 人・日 交通誘導員 B 30 人 交替要員 0 人 1 日あたり合計 1 人 配置日数 30 日 工事全体合計 人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員 A、交通誘導員 B の定義は以下のとおりとする。 交通誘導員 A とは、警備業法第 2 条第 4 号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員 B とは、警備業法第 2 条第 3 項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第 14 条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員 B を配置していることとみなす。

明示項目	明 示 事 項	条 件
[5] 工事用道路	[1] 一般道路を搬入路として使用する場合。 ・(7) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等に制限がある場合。 ・(4) 搬入路の使用及及び使用後の処置が必要である場合。	・運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。 ・制限の内容 ・処置の内容 ・幅員 _____m ・延長 _____m ・切込碎石 厚 _____cm ・その他 ・工事終了後の処置
	2. 仮道路を設置する場合	
[6] 仮設備	[1] 仮囲い等の範囲、構造	・工事範囲をバリケード等により明確にすること。 ・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・山留めは _____ 工法とし、その施工条件は図示による。 ・各工事共通の揚重機械として _____ を設置しその施工条件は図示による。 ・敷地周辺の _____ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・その他労働安全衛生法に基づく仮設備
[7] 建設副産物の処理	[1] 建設発生土の処理 ・(ア)他工事等流用 ・(イ)建設技術センター ・(ウ)民間残土受入地	建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。 建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。 なお、処理費として1m³当り _____ 円をセンターに支払うこと。 建設発生土は _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 尾高 地内の (有)小倉興産尾高残土処分場 に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。なお、処理費として1m³当り _____ 円を (有)小倉興産 に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300KN/m²以上）
	[2] 分別解体等 [3] 再資源化施設への搬出 (施設の名称・受入れ費用) (受入れ時間帯) (受入れ条件) 4. 最終処理等 [5] 産業廃棄物処理 [6] 産業廃棄物の処理に係る税	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 夜見町 地内の _____ 大成商事 (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 アスファルト塊 _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 夜見町 地内の _____ 大成商事 (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 建設発生木材 _____ 米子 _____ 市・町・村 _____ 夜見町 地内の _____ 大成商事 (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 その他(_____) _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm以下、長さ _____ m以下であること。 エ 2次公害発生のおそれのある物質（廃油等）を含まないこと。 _____ については、 _____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 _____ km）を想定し、その費用として1t当り _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 _____ 18,500 円見込んでいる。

明示項目	明 示 事 項	条 件
建設副産物の使用	⑧ 1. 建設発生土の使用	_____工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。
	② 2. 再生資源の使用	ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ☒ ・再生クラッシャーラン〔規格：Rcc-40 〕は、使用箇所： 図示による に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：RS- _____ 〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生加熱アスファルト混合物〔規格： _____ 〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ その他再生資材〔資材名： _____ 〕〔規格： _____ 〕は、使用箇所：_____に使用する。
9 支障物件	1. 地上、地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。	移設・撤去 防護等の方法 _____ _____ _____
10 濁処水利	1. 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	工法 処理の方法 放流先
その他	⑪ ①. 工事実績情報の登録	工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター 発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。
	2. 支給材料及び貸与品がある場合 3. 工事用電力等を指定する場合 4. 景観への配慮 ⑤. そ の 他	品 名 _____ 数 量 _____ 品質、規格又は性能 _____ 引渡場所 _____ 引渡時期 _____ 内 容 _____ ア 本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ 通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。 ・工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。 ☒ 近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講じること。 ☒ 契約図書の作成は、落札者において行うこと。 ☒ アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。 ☒ 当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した令和3年度営繕工事設計標準単価（令和4年4月改訂版）により算出しております。 ・試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。 ☒ 本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。 ☒ 交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいます。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。） ・ _____ _____

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。

2 感染拡大防止に向けた取組

(1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行嚴重警戒地域（Ⅳ）、感染流行警戒地域（Ⅲ）、緊急事態措置区域及び、まん延防止等重点措置区域から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の7日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。また、感染注意地域（Ⅱ）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する直前にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。この対策に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

(2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

(3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

① 書類の提出について

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※ 契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メー

ルによる送付が困難な場合は、事前に監督職員と協議を行うこと。

② 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

- ・ ①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・ 最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・ マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・ 打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、別紙1及び別紙2により対応すること。

5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた 工事及び業務の対応について

1 工事及び業務（以下「工事等」という。）で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された 場合の対応（以下「当対応」という。）（別紙2参照）

（１）対象者

発注者：監督員、調査職員（以下「監督員等」という。）を対象とする。

受注者：現場で直接作業する作業従事者（現場代理人、主任技術者、監理技術者、担当技術者、作業員（下請含む）及び業務で配置される全ての配置技術者）（以下「作業従事者」という。）を対象とする。（社内の事務員、他現場の作業従事者は、接触者、濃厚接触者に該当する場合であっても当対応の対象外）

（２）用語の定義

現場等：作業場、事業所等をいう。工事においては工事現場、現場事務所及び休憩所、業務については執務を行っている事務所をいう。

陽性者：ＰＣＲ検査により、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された者

濃厚接触者：保健所が濃厚接触者に該当すると判断した者

接触者：ＰＣＲ検査で陽性が判明した当該現場等作業従事者と、陽性が判明した日から遡って一週間以内に会話した者

感染の疑いがある者：濃厚接触者、接触者及び咳や発熱等、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を呈している者

（３）感染の疑いがある者が確認された場合の対応

ア 感染の疑いがある者が受注者側の作業従事者に確認された場合

別紙2「[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合」により対応。

イ 感染の疑いがある者が発注者側の監督員等を確認された場合

別紙2「[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合」により対応。

（４）注意事項

ア 陽性者について

陽性者は、保健所、医療機関等の指導に従う。

陽性者の現場作業への復帰時期についても医療機関等の判断に従う。

イ 濃厚接触者について

濃厚接触者は、保健所の指導に従う。

濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）は最終曝露日（陽性者との接触等）から7日間とする。

ただし、道路の除雪業務に従事する者は社会機能維持者として、下記をすべて満たす場合に限り、受注者判断により濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）の短縮を行うことができる。

①当該濃厚接触者が無症状であること

②最終曝露日から5日目にＰＣＲ検査若しくは抗原定量検査、又は4日目と5日目に抗原定性検査を行い、陰性を確認

③待機解除後に業務従事する際は、感染対策を徹底し、10日目までは当該業務以外の不要不急の外出は極力控え、公共交通機関の利用を避けること。

※待機期間短縮に係る詳細については、「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の待機期間等について」（<https://www.pref.tottori.lg.jp/302385.htm>）を参照すること。

ウ 接触者について

接触者に該当するか否かは受発注者がそれぞれ判断する。

パーテーションの使用、マスク着用の有無を問わず、現場等において、陽性が判明した日から遡って一週間以内に陽性者と会話した者は接触者となる。

接触者はＰＣＲ検査で陰性が確認されるまで自宅待機（在宅勤務）とする。

- エ (3) アにおける、「現場等の安全が確保されたか」について
工事等の一時中止を解除するにあたり、保健所の指導に従い、機械設備、現場等の消毒作業を実施する。
特に保健所から指導が無い場合、消毒完了をもって安全が確保されたとみなす。
- オ (3) イにおける、「工事等の一時中止の可否を検討」について
現場等の作業継続が可能な場合、監督員等の追加・変更（通知）や段階確認の臨場を机上とする（指示）等、現場等が継続できるよう監督員体制等の確保に努める。

2 工事等の書類の提出及び打合せについて

(1) 工事等の書類の提出

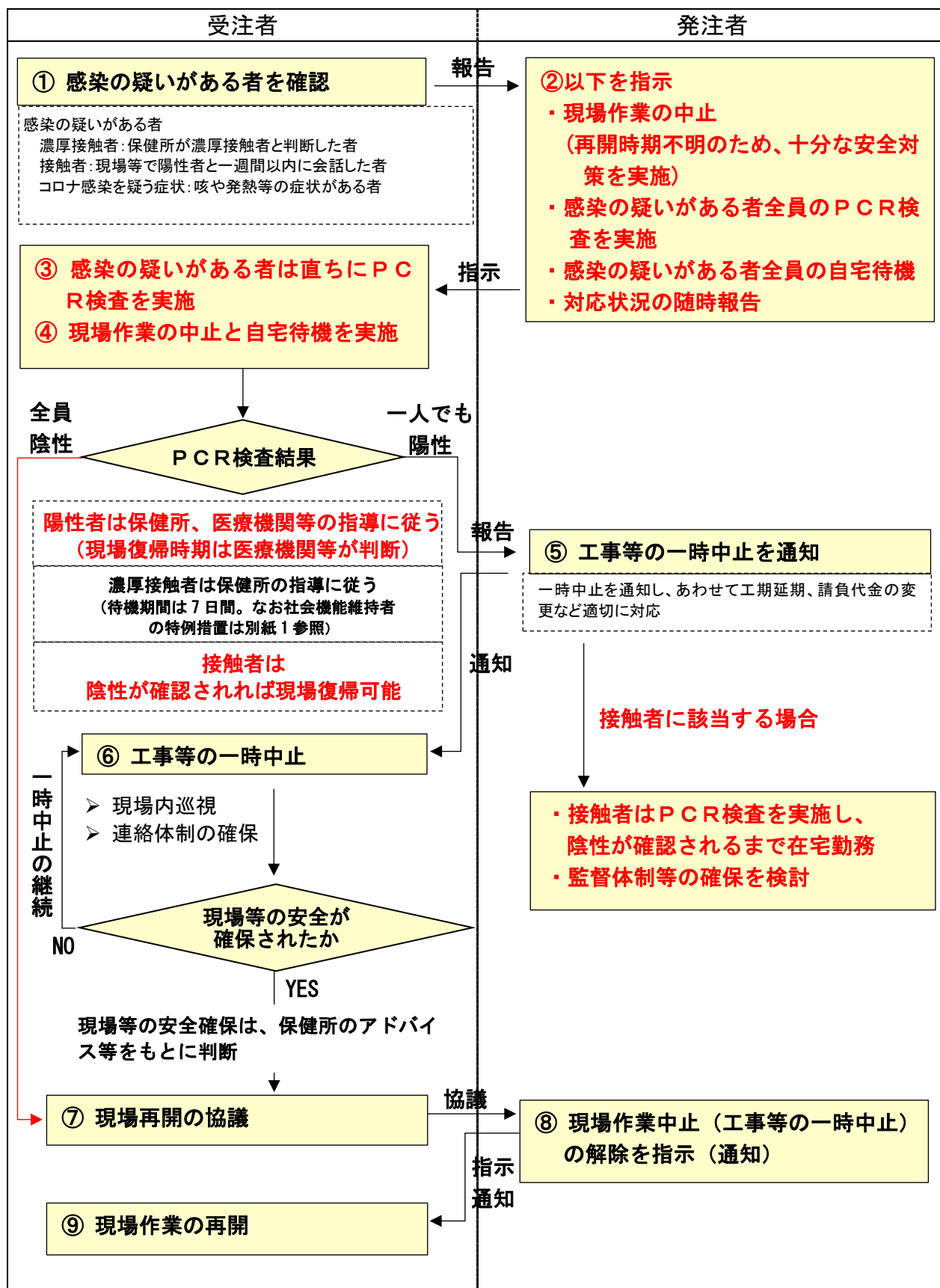
- ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。
※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願
- イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。
受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。
- ウ 受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

(2) 受発注者間の打合せ

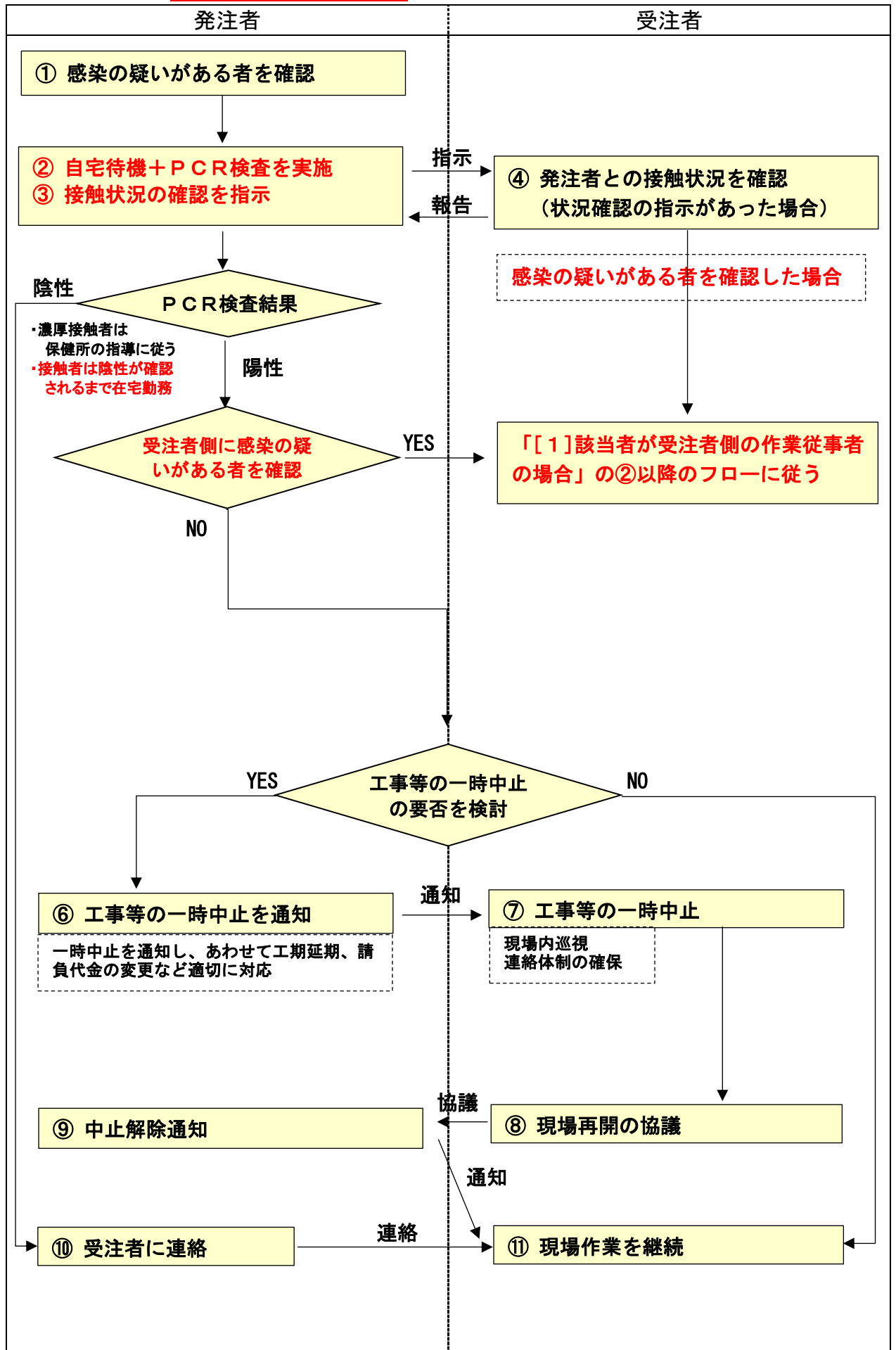
- ア 打合せは、事前に電子メール等により打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。
- イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。
- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
 - ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
 - ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
 - ・打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

工事等で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応

[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合



[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合



3つの密を 避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。
人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

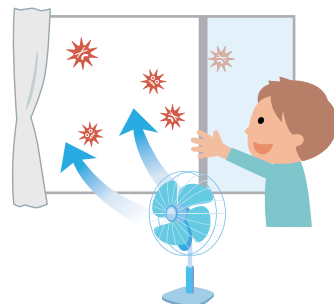


①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合

- ・ 風の流れることができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間**程度、**全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・ 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



機械換気がある場合

- ・ 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m³)を確保するよう努めなければなりません。
- ・ したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・ しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・ 通常の家用的エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- ・ 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- ・ 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

- 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（**2メートル以上**）を取りましょう。

- スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。



- 飲食店の座席では、**隣の人と一つ飛ばしに座る**と、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、**互い違いに座る**のも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。



- エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

- 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata



③「密接」した会話や発声は、避けましょう!

- 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHO は「5 分間の会話で 1 回の咳と同じくらいの飛まつ（約 3,000 個）が飛ぶ」と報告しています。
- 対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。
- エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や、携帯電話による通話を慎みましょう。**
- 飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。
注)「多人数」とは 10 人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。
- スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- 喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。

